

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール横浜センター南(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～	2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～	2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達段階を把握し、個別支援計画書や日々の療育プログラムを適切に設定することができる。	毎日、職員間でのカンファレンス(情報共有や検討等)を行っている。	療育を担当する指導員が誰であっても、継続した支援が行えるよう、カンファレンスの内容をより具体的に伝える事を心掛ける。
2	事業所へ通うことを楽しみにしている利用者(子ども・保護者)が全体の9割以上である。	伸ばしたい力の為に必要な活動を遊びの中に取り入れ、子どもが意欲的に楽しめる活動になるよう、療育内容を考えている。	個々の発達の特性や各種検査結果、好きな物、得意なことを適切に把握し、支援内容に生かす。
3	感覚調整遊具が充実している。	効果的に感覚刺激が入るように、遊具の使い方を工夫している。	子どもがすすんで遊具に親しめるような環境を整える。 職員一人ひとりが感覚調整についての学びを深める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少なかった。	事業所の特性上(短時間の個別療育を提供)、複数の家庭が集まる日程の調整が難しい。	直接的な交流は難しいが、保護者アンケート等を活用し、意見や相談の共有等、指導員を介して間接的な交流を行えるとよいか。